第 77 回番組審議委員会議事録

1. 開催年月日　令和 8 年 9 月 2 日(水)午前 10：30～11：30

2. 開催場所　和歌山県田辺市宝来町 8-21　泉ビル 2 階

3. 委員の出席　委員総数：6 名

出席委員：4 名

出席委員の氏名：辻強志、小倉拓、安達克典、橘智史

欠席委員の氏名：野村悠一郎、猪野竜太

放送事業者側出席者氏名：安田豊、安田正、洞周作、生田奈穂、濱田由希子

欠席者氏名：大﨑健志

議題　1）局側挨拶（現状報告）

2）議題

□番組聴取

6 月 12 日（金）10：10～新コーナー「みんなの公民館情報局」と、7 月 24 日（金）17：00～特別番組「田辺祭 宵宮ライブ！」

の放送内容一部をご聴取、ご意見・ご感想

3）その他番組への質問・意見

4）今後の放送に対する意見・要望

5）その他

―――――――――――――――

（以下、実際の議論内容など）

1）局側挨拶（現状報告）

洞：お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

今年から和歌山ウェイブスの試合中継に新しい取り組みが始まりました。上富田スポーツセンターで行われる試合の映像配信に AI カメラが導入され、自動で画面が切り替わり、ピッチャーの後ろから映像を映すなど、プロ野球中継などで見られるような方式になりました。その映像に弊社の実況中継を載せられるようになり、多くの方に観ていただいているようです。ウェブでの発信という意味でも効果があったと思いますし、私たちにとっても活動の幅が広がり、良かったと感じています。

そして、何といっても田辺祭りです。今年の田辺祭りは、放送時間を拡大し、午後 8 時まで延長しました。また、YouTube でのライブ配

信も行いました。2 年前から YouTube でライブ配信をしていたのですが、人が多く集まることで電波が途切れるなど、さまざまな問題がありました。また、固定カメラで撮影するだけで、ラジオの音声をそのまま流している形だったため、再生回数が伸び悩みました。そこで今年は、通信が途切れないようにスターリンクを活用し、見どころのシーンが訪れるとカメラも動かしながら撮影を行いました。すると、当日中に約 1,000 回再生されました。この取り組みは、できれば来年も続けたいと考えています。

また、9 月 1 日には開局 17 周年を迎えました。今年も開局記念の特別番組として、夜通し放送する企画を予定しています。

最近の主な活動としては以上となります。今日もよろしくお願いいたします。

2）議題

～「みんなの公民館情報局」番組聴取～

辻：地域の情報というのは、絶対に必要だと思います。現地に行かなければ見られないものでも、音声で聞くことによって情報が広まるというのは、よい手段だと思います。今回のコーナーでは、1 回の放送で 2～3 か所の公民館の情報を紹介しているということですが、す

べての公民館を一巡するまでには、かなりの回数が必要になると思います。地域の人にとっては大切な情報ですし、周辺地域の人にも知ってもらうことで、イベントなどであれば実際に出かけていくきっかけにもなると思います。ぜひ、こうした取り組みを続けていただきたいと感じました。

安達：公民館活動そのものが以前と比べて難しくなってきており、参加する人も少なくなっているように感じます。そのため、どうしても活動が目立たなくなってきているのではないでしょうか。

そういう意味でも、今回のように、他の地域でどのような活動をしているのかをラジオで紹介するのはよいと思います。他の公民館の取り組みを知ることで、参考にしたり、「こんなことも公民館でできるんだ」と新しい活動を考えたりするきっかけになると思います。

ちなみに、私の地元の龍神村では、盆踊りが公民館を中心に行われています。また、10 月には公民館対抗のソフトボール大会もあります。昔は、公民館結婚式というものも行われていました。

濱田：公民館で結婚式ですか。

安達：そうです。会費も 5,000 円程度に決められていて、生活改善の取り組みの一つだったと思います。当時は盛んに行われていて、会場

の取り合いになるほどでした。公民館長さんが仲人のような役を務めたり、司会をしたりすることもありました。

橘：今回のコーナーは、FM TANABE のスタッフが情報を紹介する形になっていますよね。公民館に実際に行って、現地の人の声を聞くようなことは、今のところないのでしょうか。

濱田：現状は、公民館側から発信されている年間の便りなどをもとに、情報を紹介する流れになっています。もちろん、現地の人に情報を発信してもらう形も考えられると思います。

橘：私たちの地域でも、昔から公民館の行事はいろいろあります。ただ、ほかの地域の人が、別の公民館の行事に参加するのは、なかなか難しいところもあると思います。特に、お祭りの情報は集まりにくいと感じています。公民館から情報を拾い上げて、地域の外にも伝えていけるとよいのではないでしょうか。地域ごとに行事を行っていても、他の地域の人がそのことを知らなければ、参加する機会もありません。お祭りがあると知れば、「ちょっと行ってみようか」と思う人もいるはずです。例えば、餅まきなどもそうです。以前は 900 人ほどが集まることもありました。祭りでは、餅まきの他に抽選会もあります。参加すると番号札がもらえて、掃除機や iPad など、いろいろ

な景品が当たります。景品が多くて抽選会がなかなか終わらないこともありますが、それだけ人が集まるということでもあります。

地域の外からも人が来てくれるので、こうした行事の情報を広く発信できるとよいと思います。

こうした行事も、ぜひ取材してもらえたらと思います。

小倉：公民館の情報を発信するという取り組みについては、予算が限られている中で制作していただいていることに感謝しています。

ただ、地域のイベントをどこまで広く紹介するかについては、難しい面もあると思います。例えば、特に人気のある地域の夏祭りでは、外から人がたくさん集まることがあります。地域の人たちが町内会で集めたお金を使って景品などを用意しているのに、地域外の人が多く来て景品を持っていってしまうことを心配する声もあります。

「地元の人だけで細々とやっているのがよいので、あまり大々的に告知しないでほしい」という考え方もあるわけです。特に、餅まきなどは、慣れている人が上手に拾っていくこともあります。他の地域では、子どもたちが授業などの関係で遅れて来るため、餅をすべてまかずに残しておき、後から子どもたちにも渡せるように工夫しているところもあります。

地域によって考え方や運営方法が違うので、どのように情報を発信するのがよいかは難しいところです。

一方で、橘さんが仰るように地域の外の人にも来てもらいたいという意見もあります。地元の公民館の人だけでなく、いろいろな人に参加してもらいたい取り組みもあります。そうした活動を知ってもらうためにも、このコーナーを続けていただけるとありがたいと思います。

安田豊：私も今回の音源を聞いて、時には現地の生の声が入っていると、よりよいのではないかと感じました。毎回取材に行くとなると大変ですが、時々は実際に現地へ行き、公民館の方に出演していただくなど、生の声を届ける機会があると、コーナーがより生き生きとしたものになるのではないかと思います。

～「田辺祭 宵宮ライブ！」番組聴取～

小倉：私自身、子どもの頃は田辺祭りといえば、夜店に行くことくらいしか頭にありませんでした。祭りの歴史や、どのような意味があるのかということには、あまり興味がありませんでした。市役所に入って広報の仕事を始めてから、いろいろと調べるようになり、こんな歴

史があるのか、こんなにすごい祭りなのかと知るようになりました。地元の人は知っていても、そうではない人は知らないことがたくさんあると思います。そうしたことを、もっと広めていけるといいのではないでしょうか。

最近は YouTube や Amazon プライムなどでアニメを見ることもありますが、アニメの中で描かれた歴史が、実際の地域の歴史につながっていることもあります。例えば、熊野にまつわる歴史や、京都とのつながり、三十三間堂など、さまざまな話がつながっていきます。熊野には長い歴史がありますし、アニメなどをきっかけにすれば、子どもたちも興味を持ちやすいのではないでしょうか。

祭りの仕組みだけでなく、地域にまつわるさまざまな歴史や人物などを知ることで、自分には関係のない話ではなく、自分にも関係があることだと感じてもらえると思います。そうした形で、地域の歴史や祭りの魅力を広めていってもらえたらと思います。

橘：私も小倉さんと同じで、子どもの頃は田辺祭りといえば夜店が楽しみでした。いつもお化け屋敷に入りたいと思っていたくらいです。大人になってから少しずつ興味を持つようになりました。

YouTube で配信してもらえると、祭りの様子や、笠鉾がどのように

巡行しているのかも、ある程度分かるのでいいと思います。

特に、祭りの最後に笠鉾を引いて帰る時など、坂を上がっていく様子は迫力があります。実際に見ると、少しダイナミックな印象もあります。こうした様子を発信してもらえるのは面白いと思いますし、YouTube なども活用しながら、祭りの魅力を伝えていってもらえたらと思います。

辻：県外に住んでいる方に広めるという点では、同窓会などを通じて案内するのもよいと思います。各学校の同窓会を通じて情報を発信すれば、県外の方にも知ってもらう機会が増えるのではないでしょうか。田辺高校などであれば、同窓会の人数もかなり多いと思いますし、関西だけでなく関東にも同窓会があるのではないかと思います。いろいろな場所で祭りを知ってもらえるチャンスになると思います。

また、私たちの学校の生徒も、祭りの手伝いをお願いされることがあり、実際に参加させてもらっています。生徒たちが地域の祭りに関わっていくことは、とてもよいことだと思います。伝統を受け継いでいくためにも、一人でも多くの生徒が地域を支える人材になってくれたらと思います。今後も、できる限り協力していきたいと考えています。

安田豊：皆さん、さまざまなご意見をいただき、ありがとうございます。田辺祭りについては、FM TANABE として以前から力を入れて中継を行ってきました。YouTube での配信も始め、より立体的に祭りの様子を伝えられるようになりました。最近は、祭りそのものに参加する若い方も増えているように感じます。小倉さんのお話にもあったように、田辺祭りには長い伝統があり、昔の習わしや信仰など、さまざまな歴史ともつながっています。FM TANABE としても、YouTube 配信を含め、こうした地域の行事を今後も積極的に発信していきたいと考えています。

引き続き、よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

3）その他番組への質問・意見

特になし

4）今後の放送に対する意見・要望

辻：現在放送している番組を、これからもどんどん充実させていっていただくのが一番だと思います。学校としても、新しい話題があれば提供していきたいと考えていますので、引き続きよろしくお願いいたします。

安達：先ほど、祭りの話がありましたが、餅まきの専門的な技術を持っている人を取材してみるのも面白いと思います。例えば、年間どれくらい通うのか、どのようなコツがあるのか、専用の道具・持ち物があるのかなど、そうした話を聞いてみたいです。実際に経験した人の話を聞くことで、興味を持つ人もいるのではないでしょうか。私自身、餅まきでは勢いよく飛ばされて、後ろに吹っ飛んだこともあります。そうした実体験も含めて、音声で残しておくと面白いと思います。

洞：それは面白いですね。拾い方のコツなどは多くの人が知りたいことかもしれません。

橘：和歌山ウェイブスの試合についてお聞きしたいのですが、開幕の試合は Instagram ライブでも配信していたのでしょうか。

洞：Instagram では配信していません。YouTube でライブ配信を行いました。これまでも、ライブ配信していましたが、以前より視聴する人も増えてきているようです。FM TANABE が中継に入ると、実況や解説が加わるので、よりテレビ中継に近い形になります。

橘：プロ野球を見るような感覚で、県外の人もお酒を飲みながら試合を見ることができるのはいいですね。チームのファンからコメントも書き込まれているんですよね。こうした配信を続けているのは、本

当にいいことだと思います。今後にも期待しています。

小倉：放送番組の告知についてですが、メールマガジンのようなものはありますか。

濱田：メールマガジンはありませんが、Instagram などの SNS で情報を発信しています。

小倉：仕事中、日中は外出するときに車の中でラジオを聞くくらいで、帰宅してから番組を知ることもあります。「こんな番組があったんだ」と思うこともあるので、メールマガジンのような形で情報を届けてもらえるといいと思います。あまり頻繁に届くと大変なので、月に 1 回程度でもいいと思います。普段の番組は皆さん知っていると思いますが、今週はこんな企画がある、試合がある、祭りの様子を見られるといった情報があれば、「それなら少し見てみようかな」と思う人もいるのではないでしょうか。そうした告知の方法も考えてもらえるとよいと思います。

また、田辺祭りに限らず、地域にはさまざまな祭りがあります。そうした祭りにも取材に行ってもらえたらと思います。例えば、新庄や芳養など、各地域のお祭りを YouTube でリアルタイム配信すると事前に告知すれば、東京など遠方に住んでいる人も見るかもしれません。

もちろん、すべての祭りを取材するのは大変だと思います。今年はこの祭りを取り上げてみよう、といった形で、できる範囲で取り組んでもらえたらよいのではないでしょうか。

洞：仰るとおりだと思います。映像が付くと、制作のハードルは上がりますが、できる範囲で取り組んでいきたいと思います。今後の放送の参考にさせていただきます。

安田豊：本日は、さまざまな有益なご意見をいただき、ありがとうございました。

先ほどのお話にもありましたが、事前告知をうまく行うことができれば、特に YouTube などの動画を活用した取り組みも、より効果的になると思います。田辺に住んでいない方にも見てもらえる、あるいは聞いてもらえる可能性がありますので、そのあたりも含めて、今後検討していきたいと思います。ありがとうございました。

5）審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月日

特になし

6）審議機関の答申または意見の概要の公表方法

内容：審議内容について公表

方法：ホームページ掲載（http://www.fm885.jp/）

7）その他参考事項

特になし